

CF-BPF2, BPF10, BPF20 BPF6, BPF15, BPF40

取扱説明書

仕様

CF-BPF「
」は、無線送信機より放射する低調波、高調波を抑圧し、TVI, BCIを防止します。

受信時には近接周波数の通信による干渉を防止する事ができ、快適な交信を可能にするためのバンドパスフィルターです。

1. 通過帯域	それぞれの周波数帯域、 $F_0 \times (\pm 8)\%$ の幅有
2. 挿入損失	0.8 dB以内
3. 減衰量	図示のとおり
4. 入出力インピーダンス	50 Ω
5. V. S. W. R	1.2以内
6. 耐電力	150W CW(HOLD) 200W(MAX)
7. 入出力接栓	M型ジャック HOLD 減衰極特性が十分保証 できる電力
8. 重量	800 g
9. 外形寸法	W250×D66×H64(mm)

特長

1. 高周波抑圧比が抜群です。

TVIフィルターの生命である高調波の減衰特性がとくに優れています。

図1に代表的な減衰特性をしめします。

2. 耐入力特性が優れています。

送信最大出力150Wに十分耐えるように設計されています。

3. 挿入損失がきわめて小さい。

多段式フィルター（13段）ですが、挿入損失がきわめて小さくなるよう設計されており。

4. バンドパス特性が優れています。

近接のアマチュア・バンドの混信や干渉を防止するのに、大きな効果があります。このために特性のよい減衰極を持たせてあります。

フィルターの使用法

フィルターは図2のように送信機出力回路を空中線との間に挿入して使用します。フィルターには入力側・出力側とも同じインピーダンスですから極性はありません。つぎにフィルターの正しい使用方法を説明します。

A. フィルターを送信機外部に設置して使用する

フィルターを図3のように送信機の外部に設置して使用方法で、ふつうは柱や壁などに取りつけて使用します。この方法で注意していただきたいことは、④～⑥間をあまり長くしないことで、できるだけ1m以内でご使用ください。

B. フィルターを送信機に直接とりつける方法

フィルターを送信機に直接とりつけて使用方法で自作セットでスペースがあるときは、送信機後部に適当な穴あけ加工をして取りつけます。

なお、送信機のアースはかならず行なってください。

C. アンテナ・カップラーと併用する方法

この方法では④～⑥間を2mくらいにのばしても特に悪い影響はありません。アンテナカップラーを使用すればどのような空中線にも使用することができます。この方法では、アンテナカップラーがバンドパス特性をもっているため高調波の抑圧には特に効果的です。

使用上の注意

●空中線と送信機との整合は正しく行なってください。

空中線と送信機の整合がよくない場合はフィルターの効果が半減します。SWRメーターで調べて2.0以下であれば整合された状態といえます。

●送信機はかならず確実にアースを行なってください。送信機にはアース端子があり、この端子を利用して確実なアースを行なってください。

●フィルターを挿入してもあまり効果が認められない場合、ご存知のように TVI, BCI は高調波だけでなく、基本波や、低調波、またフィルターの通過帯域内での低次の高調波によっても妨害を発生しますし、送信機のケースからの直接放射や、電源・電灯線系からの放射など、また、テレビセットの種類によっても発生現象が変化し、複雑な原因による場合が多いのです。この場合はフィルターによる効果だけにたよらず、他の適当な方法を併用して対策されることが望ましいと思います。

●本機は防水型ではありませんので、室外での使用はできません。ご注意をお願いいたします。

コメント株式会社

本社営業：〒335 埼玉県戸田市美女木 1230 ☎0484-21-7921(代) FAX0484-22-1038
 大阪営業所：〒560 大阪府豊中市螢池東町2-4-5都ビル1F ☎06-844-0693 FAX06-853-2011
 仙台営業所：〒982-01宮城県仙台市上飯田横堀87-1 ☎0222-85-9506 FAX0222-85-9507
 工場開発倉庫：〒335 埼玉県戸田市美女木 1227-3 ☎0484-21-7798
 EXPORT 1110 Tokyo Royal Plaza, 1-18-11 Uchikanda, Chiyoda-ku, Tokyo.
 TELEX: J32733 MOTO TEL: 03-233-4491 CABLE: JATRACOM TOKYO